

報告事項

平成29年度事業計画及び収支予算について

平成29年度事業計画

公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議は、県民の皆様、民間団体、行政それぞれの持ち味を活かした役割分担をもとに連携し、「県民エコステーション」として、温暖化防止活動推進員の育成、環境団体への支援、喫緊の課題である温暖化対策などの環境保全対策の取組みを行ってまいりました。平成22年からは、金沢市鞍月の「いしかわエコハウス」へ移転し、家庭の省エネ技術を学べるこの施設での展示や解説をはじめ、家庭での温暖化対策の推進にも取り組み、平成26年4月、実施事業の公益性が認められ、公益社団法人に移行したところであります。

平成27年(2015年)12月にフランス・パリで開催されました「気候変動枠組条約締約国会議(COP21)」で、平成32年(2020年)以降の温室効果ガス削減の新しい枠組への国際合意(パリ協定)が採択され、日本でも、昨年(2016年)協定が発効し、平成42年度(2030年度)に向けて温室効果ガス排出量の26%(2013年度比)削減を掲げています。

こうした中、当法人は、平成29年度も引き続き、地域の地球温暖化防止活動推進センターとしてのネットワークを最大限に活用し、温暖化対策事業を着実に推進するなど、会員をはじめとする県民の皆様のニーズに応えるべく、国、県と連携して、事業を展開してまいります。

事業実施内容

1 県民会議の管理・運営 (29)21, 388千円 / (28)21, 206千円)

各環境保全団体の活動場所である県民エコステーションの管理・運営を行うとともに、石川県地球温暖化防止活動推進センターの運営を行う。

- (1) 県民エコステーションの管理・運営
- (2) 石川県地球温暖化防止活動推進センターの運営
- (3) 総会・理事会の開催

2 環境情報の収集提供 (29) 2, 032千円 / (28) 2, 142千円)

- (1) 環境ライブラリーの整備・貸出(図書、パネル、ビデオ)
- (2) インターネットによる情報提供(ホームページ、メールマガジン)
- (3) チラシ・ポスターなどによる情報案内

「県民エコステーション」の活動案内、会員情報、イベント案内等

- (4) 機関誌・情報誌の発行

- ・ E-GAIA(イーガイア) 年2回
- ・ 自然と環境の総合情報誌「エコナビ」 年1回

3 地球温暖化対策の推進 (㊟ 33, 277千円/㊟ 33, 878千円)

(1) いしかわ環境フェア2017の開催

開催時期:平成29年8月19日(土)、20日(日)

開催場所:産業展示館4号館

内 容:市民団体・学校・企業等の環境保全活動の紹介、講演会、体験コーナー、住宅省エネ設備・技術の紹介、展示等

(2) いしかわ近未来の環境技術展の開催

環境フェアと併催し、省エネルギー・再生可能エネルギーの先進的な技術や子ども向けの環境科学体験の展示を行い、その内容を県民に周知する。

(3) いしかわの里山里海展の開催

環境フェアと併催し、県民・企業・NPO団体など多様な主体の参画を得て身近な素材である里山里海に関する展示を行い、生物多様性の理解促進を図る。

(4) 省エネ・節電アクションプランの推進

従来のいしかわ版環境ISOの省エネ・節電に関する取組内容を拡充した省エネ・節電アクションプランの普及、定着を推進するため、省エネ・節電啓発イベントの開催や省エネ・節電の各種相談窓口の設置を行う。

(5) エコギフトによる温暖化防止活動への支援

いしかわ学校版・地域版環境ISOの認定校や認定地域となった学校や公民館・町内会を対象に、活動内容の評価を行い、優秀な活動に対しエコギフト(商品)を贈呈する。

(6) いしかわエコチケットによる温暖化防止活動への支援

いしかわ家庭版環境ISO登録家庭を対象に、省エネなどエコ活動等に応じてポイントを付与し、エコチケットを交付することで、本登録家庭の増大とともにエコ活動の促進を図る。

エコチケットは事業協力店舗での買い物に使用できる。なお、エコチケットで支払いを受けた事業協力店舗などへは現金を還元する。

(7) エコファミリー倍増プロジェクト推進事業

エコファミリーの裾野の拡大と取組内容の充実(質の向上)を図るため、エコファミリーフェアの開催、いしかわエコライフ応援サイトの運用・充実や「うちエコ診断」などを実施する。

(8) いしかわクールシェアの推進

夏季期間中、家庭のエアコンを消して公共施設や商業施設などの冷房空調を共有することにより、家庭における消費電力を抑制する「クールシェア」の取り組みを推進する。

(9) いしかわウォームシェアの推進

冬季期間中、家族が1つの部屋に集まって鍋を囲んだり、暖房を消して外に出かけることで、家庭における消費電力を抑制する「ウォームシェア」の取組を推進する。

(10) 企業エコ化の促進

県内中小企業等を対象に、地球温暖化対策や生物多様性の保全などの環境対策を制約ととらず、持続可能な社会に向けた石川発のビジネス創出の足がかりとする。

(11) いしかわエコもの発信力向上支援事業

エコ製品等の市場への普及に意欲のある企業等を対象に、広報の専門家によるセミナーの開催、エコ製品等へのキャッチコピー付与、全国環境メッセ等への合同出展によるPR実践などを行う。

(12) いしかわ版 CO2 削減活動支援事業

二酸化炭素(CO2)の吸収源である森林保全活動の支援のため、企業協賛による森林保全活動支援資金の管理、支援金の交付及び支援制度の普及啓発を行う。

(13) いしかわ事業者版環境ISOの運営

石川県独自の簡易な環境マネジメントシステムであるいしかわ事業者版環境ISOに係る審査・指導を行う。

(14) エコクッキングの実践活動

エコクッキングの普及拡大を図るため、県内各地で講習会(レシピ、調理法等)を開催する。

(15) 地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業(国庫補助事業)

地域地球温暖化防止活動推進センターの運営、地域における日常生活に関する温室効果ガスの排出の実態について、地球温暖化防止活動推進員協働による調査、情報収集・提供・普及啓発・広報活動及び地域との効果的な連携、連絡調整等の事業の一層の円滑化と促進を図り、地域における活動の基盤を形成し、低炭素社会の構築を目指す。

4 普及啓発活動の実施 (㉑ 4, 302千円/㉒ 4, 579千円)

(1) いしかわエコハウスの見学者への案内・普及

省エネ技術を集めた「いしかわエコハウス」の見学者に対する案内・説明等により省エネ技術・設備の普及を図る。

(2) 電気自動車の展示・イベント等への貸出

(3) 環境図書、ビデオ等の購入、貸出(再掲)

(4) 県内開催の環境イベントへの参加

いしかわ環境フェア2017の開催(再掲)及び県内の環境イベントに参加、交流を図る。

5 環境学習の実施 (㉔ 1, 297千円/㉕ 1, 357千円)

(1) ドイツ・フライブルク環境研修の実施(ドイツ・フライブルク市等へ派遣)

環境都市フライブルクにおける環境保全の事例収集及び手法等を身に着け環境リーダーとしてのスキルアップを図る。 受講人数 : 2名

(2) 環境情報交流サロンの実施

土曜日に交流サロン(土曜サロン)を実施し、地球温暖化防止等の環境保全活動を推進する。

6 環境保全活動への支援 (㉔ 1, 100千円/㉕ 1, 400千円)

(1) 講師派遣

県内の事業者、公民館、学校、各種団体が行う環境保全に関する講演会、研修会への講師派遣による支援を行い、環境保全の普及を図る。

(2) 環境保全活動助成

県内の民間活動団体が行う環境保全活動への助成を行うことにより環境保全活動の促進を図る。

7 いしかわeco基金事業 (㉔3, 321千円/㉕1, 652千円(ほかに引当金払出額1, 284千円))

協賛企業からの寄付金を積み立てた「いしかわeco基金」を原資として、いしかわエコチケットによる温暖化防止活動への支援(前掲)実施のため、エコチケットで支払いを受けた事業協力店舗に対する現金の還元を実施する。

8 里山ポイント事業(いしかわり山創成ファンド事業)

(㉔ 1, 400千円/㉕ 1, 200千円)

県や市町、里山づくりISO認証団体が主催する里山活動への参加者に対し、里山ポイントを付与し、そのポイントに応じた里山チケットを交付することにより、より多くの人々が里山保全活動へ参画することを促進する。

9 いしかわ自然学校事業 (㉔ 7, 496千円/㉕ 6, 696千円)

(1) 事務局の設置

① いしかわ自然学校の管理

いしかわ自然学校全体の連絡調整や総合パンフレット・ホームページによる広報等

② 運営協議会の設置

いしかわ自然学校の運営のための関係者会議

(2) 実施団体及び指導者の養成

① インストラクターの養成

インストラクタースクールを開催し、プログラムの企画から実施、管理を体系的に行うことができる質の高い指導者を養成

② インタープリターの養成

自然体験プログラムを実施する上で不可欠なインタープリテーションや安全管理・生物多様性等の講座を実施

③ プログラムづくり支援

実施団体等のプログラム企画を支援するアドバイザーの派遣等

④ コーディネーターの配置

実施団体等の指導や講座の企画・運営等に従事する常勤職員の配置

10 夕日寺健民自然園管理運営事業 (㉔ 12,514千円/㉕ 12,514千円)

県から指定管理者として指定を受け、平成27年度から管理運営事業を実施。

(指定管理期間 平成27年度～平成29年度)

(1) 自然園の管理運営 (職員2名体制)

(2) 来園者増のための取組

① 自然体験プログラムの実施(里山探訪、里山楽習塾など:約40回)

② 夕日寺の森フェスタの開催

③ ホームページの管理運営